

研究のためカルテの情報を使用させて頂いています

◎対象となる患者さん:メチシリン感受性黄色ブドウ球菌菌血症で
入院された事がある方

1、研究の題名

『メチシリン感受性黄色ブドウ球菌菌血症に対するセフトリアキソンとセファゾリンの治療効果の比較検討』

研究期間：倫理委員会承認後 ～ 2025年3月31日

2、研究の目的

メチシリン感受性黄色ブドウ球菌(MSSA)が原因の血流感染に対する抗生剤治療としてセファゾリンが本邦では第一選択薬です。ところが、セファゾリンは1日複数回投与する必要があるため、外来治療には向いていません。一方で、セフトリアキソンは1日1回の点滴であり、外来で使用される機会も多いです。今回、MSSAによる血流感染に対してセフトリアキシソンの有効性を評価するために本研究を行います。

3、以下の期間に上記(◎対象となる患者さん)を満たした方が対象です

対象期間：2019年4月1日 ～ 2022年3月31日

4、本研究で使用する情報について

本研究に関して診療記録から以下の情報を取得します。

年齢、性別、BMI、当時かかっていた病気、以前かかったことのある病気、当日内服していた薬(解熱薬などを含む)、点滴ルートや尿道バルーンなど当時使用していたデバイス、抗癌剤および免疫抑制剤の使用歴、集中治療室での治療の有無、入院前30日以内の手術歴、血圧や呼吸数などのバイタル、採血データ、培養検査、膿瘍病変を合併していた場合、穿刺による排膿実施の有無、レントゲン、CT、MRI、エコーなどの画像検査、抗生剤の投与量、すべての抗菌薬を使用していたトータルの期間、治療開始から解熱までの期間、治療開始後30日以内の死亡率、治療後に再検した血液の培養からMSSAが再検出されたかどうか、血液の培養からMSSAが消えた後、72時間以上経過してから再度MSSAが血液の培養で検出されたかどうか、治療14日以上経過してから本来は菌がない部位の培養でMSSAが検出されたかどうか

[検査所見]

●菌血症診断時採血データ

WBC、CRP、Plt、T-Bil、AST、ALT、LDH、 γ -GTP、BUN、Cr、Ccr

●微生物学的情報

同定菌名、薬剤感受性結果

●入院中に実施された画像検査

X線検査、CT、MRI、エコー

5、取得情報の利用範囲

飯塚病院で使用します。

6、本研究の責任者

この研究の責任者は以下の者です。研究の成果を学会や論文等で発表する際には名前等を番号や記号に置き換え個人が特定できない様に行います。また、この研究にあたり個人情報の漏洩等がないよう取得した情報等を管理し、患者さんに不利益がないよう責任を持ちます。

(科名又は部署名) 感染症科

(研究責任者名) 沖中 友秀

7、対象となる患者さんまたはそのご家族等の方へ

この研究にあなたの情報が使用されることを希望されない場合や疑問点などがありましたら、ご遠慮なく下記連絡先までご連絡ください。お申し出頂いても、不利益を被ることは一切ございません。どうぞ、ご安心ください。

また、この研究の計画書を研究に支障のない範囲で閲覧することができます。その場合も下記連絡先までご連絡下さい。

(連絡先)0948-22-3800 (代表)

(担当者名)沖中 友秀